

TSA

TOBA SUPER AQUARIUM

No.79 SUMMER 2021

特集
超絶待望！セイウチ
赤ちゃん誕生！！

フロントエッセイ
コロナ禍で感じたこと

TSA 特別講座
モニタリングのすすめ
佐藤 達也

地球で遊ぼう！
“足元の海”は幼魚パラダイス
鈴木 香里武

新連載
伊勢志摩プラプラ



▲当館の人気者、メイからのメッセージ

コロナ禍で感じたこと

館長 奥出 協

令和2年1月16日、中国から帰国した方から日本で初めて新型コロナウイルスが検出されました。その時点では、まさか自分の身近でパンデミック(世界的大流行)が起こるとは思ってい

ませんでした。ペストやSARSなどという病名や影響・怖さを知っていたつもりでしたが、この感染症によって、1ヶ月半後の3月2日に休館せざるを得なくなるという感染症の恐ろしさを痛感するとは想像もしていませんでした。

「新型コロナウイルス感染症」により、私は自分の危機管理意識が希薄であったことを自覚しました。「リスクはいつか必ず起こる」ことへの対応ができ

ていませんでした。幸いなことに、現時点(5月25日現在)で職員やそのご家族に感染者はなく、また当館にお越しいただいたお客さまの中で感染が広がったという報告もありません。これは職員を始め関係者の皆さんが自身や館内のお客さま対応を含め感染防止対策を徹底してくれたお陰です。

TSA

TOBA SUPER AQUARIUM

No.79 SUMMER 2021

Front Essay

コロナ禍で感じたこと

奥出 協

特集 超絶待望！セイウチ赤ちゃん誕生！！

今川 明日翔

三重の水辺紀行 74

— ライフスタイルに欠かせない海 —

南 理沙

海の生きものたちに会いたくて 74

海浜植物

若林 郁夫

あっぱれ！キーワード水族館 43

体の色の巻

TSA 特別講座 43

モニタリングのすすめ

佐藤 達也

地球で遊ぼう！ 38

“足元の海”は幼魚パラダイス

鈴木 香里武

01 02 06 08 10 14 16

釣りバカ飼育員日記 第15回
伊勢志摩でのナマズ調査

辻 晴仁 18

人魚姫セレナとの日々 4
セレナの健康チェック

半田 由佳理 19

獣医のきもち 38
ニコからのプレゼント

長谷川 一宏 20

新連載 第1回
伊勢志摩プラプラ

高林 賢介 21

もうヘンなヤツとは言わせない！ 20
飼育日記から見つかった新種

森滝 丈也 22

とっておきのウラ話
春のヌタ祭り

山岡 隼 23

鳥羽水族館モノ語り 31

「テープ」 24

読者のページ 25

オリジナルカプセルフィギア新発売！

水越 謙 26

夏イベント
TOBA リンピック

～あつまれ！水中のアスリート～ 27

[出来事&クローズアップ]

2020年11月1日～2021年4月30日 28

●楽しい情報をホームページで公開しています <https://www.aquarium.co.jp/>

フロントページから

ドラマの主人公

動物の出産には大なり小なり感動的なドラマがつきものである。

前号の表紙を飾ったバイカルアザラシの「ニコ」や今話題のラッコ、スナメリなど、これまで当館では動物にまつわる数々の感動的なドラマが繰り広げられてきた。その中にはハッピーエンドで終わるものもあれば、残念な結末に終わったものもある。まさに筋書きのないドラマなのだ。表紙のセイウチ「テニ」もまさしくそんなドラマの主人公の一人と言えよう。

「テニ」の生い立ちについては、本号特集の中で担当者が熱く語ってくれているので、ここではあえて触れずにおくことにする。

話は少しそれるが、昨今は水族館や動物園の飼育員を目指す若者が増えていると聞く。アシカのトレーナーや、動物に接する飼育員の仕事にこれを持っているのであろう。



「テニ」もそんなドラマの主人公として、飼育員らに見守られながらこれから立派に成長してくれることであろう。「テニ」の未来にどう期待！

若井嘉人

自分としては、もつと初期の段階から適切な対応策や取組方法があったはずだと反省しています。自治体や関連団体からの通達に基づく感染防止対策を策定する前に、自らで方針や対策を講じるべきでした。当地にも厳しい独自ルールを定めていた企業グループがあります。非常事態における対応こそが自分の役割だと実感しました。

一方で、このピンチをチャンスに変えてくれたものがあります。それはSNSを活用した情報発信です。以前からSNSを効果的に活用することは行われていましたが、全国における感染者拡大により長期休館を余儀なくされた期間に、普段お客さまが見ることができない動物の様子などを積極的に公開してくれました。その結果、バイカルアザラシの「ニコ」というニュースターが誕生するなど

お客さまへの訴求効果が絶大で、動物を見たい方々の満足度が飛躍的に向上したと思います。その後SNSを通じた情報や映像の発信により、フォローワー数が増えることで効率的な広報活動ができていくと考えています。

また、休館中はお客さまの姿がないので、各部署において普段できないことを様々なチャレンジしてくれました。例えば、ラッコには飼育員がびしょ濡れになりながら新しいトレーニングを行い、その風景をYouTubeにアップすると地元消防本部の目に留まり、火災予防・消火の啓発に繋がるという理由で感謝状と大好物の伊勢エビを頂きました。また、若手にマイクパフォーマンスの練習を集中的に行いそのスキルが一気に向上しました。これらを含め、館内にお客さまの姿がない状況でも地道に努力を続けてくれたことに大きな喜びと、結果が出たことに嬉しさを感じることもできました。

コロナ禍では「新しい生活様式」が定着しつつあります。鳥羽水族館においても、国や県が推進しているオンライン等を活用した実証実験に積極的に参加・取組むなど、「新しい水族館スタイル」も模索しています。皆さま、鳥羽水族館はまだまだ成長段階ですので、今後とも期待してくださいね。

超絶待望！セイウチ赤ちゃん誕生！！

飼育研究部 今川 明日翔



初めての妊娠と出産

「クウのお腹の中に赤ちゃんがいる!!!」
エコーをしていた獣医の興奮した叫び声が飼育舎に響き渡りました。

赤ちゃんの母親クウの人生ならぬ「セイウチ生?」初の妊娠の確認は2015年10月に廻ります。当時私はセイウチ担当歴2年目の新米飼育員で、「そんなに驚くことなの?」と思っていました。明らかに勉強不足。

その頃国内にはセイウチを飼育している園館が9園館あり、その中で繁殖を成功させたところがある園館は2館だけ。しかも、セイウチの国内飼育頭数は30頭未満と減少傾向にあったのでした。そんな中でクウの妊娠はまさかとは思っていましたが、とんでもないビッグニュースだったので。当館がセイウチ飼育を始め、て丸10年のことでした。クウの出産に向け、日常の体重管理や血液検査を行い、また、どのような環境で出産や育児をさせるかを考える日々はあつという間に過ぎました。

2016年6月26日、クウの第1仔となる赤ちゃんが産まれました。ところが、赤ちゃんは無事に産まれたものの、わずか生後5日で先天性の異常により、死んでしまいました。悔やんでも悔やみきれない1産目でした。そして時は流れ、2017年10月、なんとまたクウの妊娠が分かったのです。今度こそはと1産目で学んだことを活かし、2産目に挑みました。2産目も無事に出産は成功!だが、クウの様子がおかしい…。なんとプールへ赤ちゃんを連れて行ってしまい、赤ちゃんは溺死してしまつたのでした。

2産目は、完全に飼育環境のミスで、自分たちを責める日が続きました。しかし、ここであきらめる訳にはいかない。死んでしまつた2頭の赤ちゃんの為に、クウを母親にしてあげたいという思いを胸に、私たちの3産目の挑戦が始まつたのでした。

赤ちゃん誕生と新たな挑戦

3産目の妊娠が分かつたのは2019年9月です。私たちは出産時に起こりうるあらゆる事象を想定し、万全の準備をしてその日待ちました。

そして2020年6月20日、朝からクウの様子がいつもと違うことに気付きました。私たちは出産対応の準備を進めました。

クウが産気づき、次第に赤ちゃんの体が見えてきます。クウ3産目の出産が始まりました。セイウチ担当者5人とその他応援のスタッフで、赤ちゃんの誕生を待ちます。私はクウのいるすぐ近くの扉か

ら、ビデオを回しながら固唾を飲み、いつなんどきでも動けるようにしていました。クウがいきんで、目一杯力を入れているのがよく分かります。

「クウ、赤ちゃん頑張れ!」と心の中で声を掛けながら、ついにその瞬間はやって来ました。19時56分、セイウチの赤ちゃんが産まれたのでした。赤ちゃんは高い声で「ワンワン」と鳴いていて、生きていくことを確認出来ました。現場に居合わせたスタッフ一同、クウと赤ちゃんに刺激を与えないように、喜びを抑えるのに必死だったと思います。僕たちが心配していたいくつかの不安要素もひとまずクリアし、母子ともに無事に出産を乗り越えました。

出産を終えた今、次のステップは授乳です。特に初めの授乳が肝心で、親から仔へ免疫を分け与えることの出来る初乳は、1週間以内に飲まなければあまり効果が期待できないとされています。母子ともに状態は悪くなさそうですが、クウの赤ちゃんへの対応が少々雑に見えます。赤ちゃんはク

ウの乳首を探しているようでしたが、なかなか授乳の風景は見られず、あつという間に丸1日経過してしまいました。

人工哺育の道

担当者一同、過去2回赤ちゃんが死んでしまつた経験もあり、何としてでも産まれてきてくれた赤ちゃんを助けたいと思つた末の人工哺育という選択でした。クウには申し訳ないと思いつつ、心を鬼にして6月21日、クウと赤ちゃんを分離することにしました。始めはクウも赤ちゃんも興奮したように鳴いていましたが、産後の疲れ



赤ちゃんとも母獣クウ



飼育員に甘えながら寝る赤ちゃん



犬用ミルクとシリンジ



泳ぎの練習



初めてのプールへ



指を吸うテン

触れていきます。初めてのおもちゃやプールも、興味半分、警戒半分の動きをしながら成長していく姿はなんとも愛くるしくてたまりません。ただ、1ヶ月以上経ち、まだ決まっていなかったことが1つありました。それは愛称です。

一般公募で愛称を募集すると、嬉しいことにも計1500通近くの応募がありました。今後一生呼び続けるものなので、みんなから愛され、呼びやすい名を付けてあげようと悩み抜いた末に1つの愛称をいただきました。その愛称は

「テン」です。

「天赦日」と「二粒万倍日」が重なる吉日に生まれたこと、天からの贈り物のような大切な存在であるということから、この名をいただきました。

あれからあつという間に月日は流れ、テンはもうすぐ1歳の誕生日を迎えようとしています。現在の体重は140kg、体長は147cmもあります。まだミルク離れは出来ていませんが、サケや貝などの固形エサもよく食べる様になりました。ポウやクウのようにシヨード活躍する日を夢見て、遊びながらいろんな動きを覚えています。

私たちはテンが今後も皆様に見守られながら成長し、楽しいセイ



口の中をチェック



トレーニングの時間



セイウチチームとテン



採血も大人しい

ウチ生を送れる手助けを続けていきたいと思えます。そして、ポウとクウ、残念ながら死んでしまった2頭の赤ちゃんから繋いだテンの命、この命をまた未来へ繋いでいけるよう、セイウチチームの挑戦はこれからも続きます。



4人で強制授乳



哺乳瓶から飲む練習



シリンジでミルクをもらう赤ちゃん

もあつたのでしょうか、クウは徐々に眠りにつきます。赤ちゃんは「ワンワン」と鳴いて、クウを必死に探している様子でしたが、私たちはまず体重や体長などを測り、外観上異常がないかチェックを行いました。赤ちゃんの性別はオスで体重は52kg、体長は110cmでし

た。赤ちゃんとはいえず、その大きさと力強さに驚きました。赤ちゃんを冷暖房の効く飼育舎へ移動し、初めてのミルクを与えることにしました。人間の哺乳瓶を用意し、ミルクは犬用ミルクです。セイウチの人工哺育は、国内でほとんど例は無く、手探りの状態から

始めなければなりません。獣医と一緒にミルクを与えようと試みましたが、なかなか哺乳瓶から飲んでくれません。それもそのはず人工ではセイウチの乳首とは形状も異なりますし、だいたいセイウチ用の哺乳瓶なんてどこを探してもありません。

いくつか乳首の種類や方法を試みたのですが吸ってくれず、いきなり大きな壁にぶち当たりました。赤ちゃんも眠りにつき、その日は獣医と私でお泊まりです。獣医と交代で、赤ちゃんと一緒に寝ながら「大丈夫、絶対。一緒に大きくなろう。君のお母さんは5人(担当者)の数もいるよ。いくらでも君の甘えに付き合うさ。」と思いを固めながら夜を過ごしました。

産まれてから丸2日経ち、1度も授乳ができずにいたので、私たちは強制授乳を試みることに決めました。約1mあるチューブを口から胃の手前まで挿入し、シリンジを使ってミルクを送り込む方法です。これは以前にもスナメリやアシカ類でも行っていた方法で、要領は掴んでいます。相手は大

きな赤ちゃんです。始めは、嫌がる赤ちゃんを、5人がかりで保定し行いました。1回授乳するのも一苦労で、これを3時間おきにするというのだから骨が折れます。しかし、大事な大事な赤ちゃんです。24時間体制でクウの代わりにスタッフが赤ちゃんに寄り添い、泊まり込みで対応しました。赤ちゃんが哺乳瓶からミルクを飲んでくれるように、あらゆる方法を試しながら強制授乳の日々が1週間、2週間と続きました。始めは嫌がっていたチューブにもだんだん馴れていきましたが、結局哺乳瓶から飲むことはありませんでした。しかし、スタッフ2人だけで授乳対応もできるようになり、なんとか赤ちゃんは順調に大きくなっていきました。

そして瞬間に1ヶ月が過ぎ、やっとお客様へのお披露目に至ったのでした。

赤ちゃん命名！
果てなき挑戦と未来へ繋ぐ

赤ちゃんも徐々に周りを知られるようになり、常に新しいものに



アワビの貝殻



シロチドリ



ワカメやアカモク、ヒジキなどの海藻

鳥羽市相差町にある千鳥ヶ浜海水浴場。夏の休みの日には毎日通っている海水浴場です。500mほど広がる砂浜に、波のない穏やかな海、水の透明度も底が見えるほど綺麗です。学生の時、ライフセーバーとして監視をしていた海によく似ているので、懐かしい気持ちになる大好きな海です。今日は海にも浸かりながら、生きものと出会えることを楽しみに散策していこうと思います。

海を前にして左側にある磯場。干潮時には水が引き、奥まで歩けるようになります。磯場には足の踏み場がないほどの海藻が流れ着いていました。ワカメやアカモク、ヒジキです。相差町には多くの海女さんが暮らしており、アワビなどに加え海藻も漁で採っています。打ち上がったしまったものは、畑の肥料にするために持って帰るそうです。偶然知り合いの漁師さんを通りかかり、教えてくれました。生きものの写真が撮りたくて探していると言えると、漁師さんはお菓子をまいたら鳥が飛んでくるかもーと言い、私にお菓子を手渡しました。さっそくまいてみました。お菓子は寄ってきてくれませんでした。少し離れた所に小さな鳥の姿が。シロ

チドリです。カメラでギリギリ撮ることができ距離です。少しでも近づくとその短い足で走り去ってしまいます。三重県の鳥でもあるシロチドリは浜千鳥とも呼ばれていて、砂地に巣を作り、卵を産みます。地元の人たちの間では、卵を見つけたら木の枝で周りを囲って、誰かに踏まれないようにするのが決まりのようです。私も見つけたらそうしようと思います。

少し海にも入ってみることにします。さっそく足下にはアワビの貝殻が落ちていました。海女さんの落とし物でしょうか。ここにも海藻がたくさん生えており、なんとジュゴンの餌であるアマモも生えていました。魚が一匹もいない…。諦めて帰ろうと振り返ると、目の前をボラの稚魚が悠々と泳いでいました。慌ててカメラを構え、なんとか写真が撮れました。磯場の近くにあるテトラポッドの下ではクサフグも泳いでいました。6月から9月頃にはミズクラゲの姿も見ることができま

す。

水温も少しずつ温かくなり、もうすぐ夏がやってきます。今年の夏も、この豊かな海で過ごしたいと思います。

飼育研究部 南 理沙



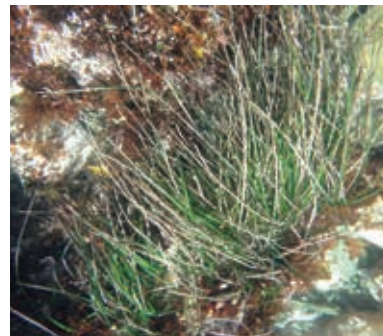
千鳥ヶ浜海水浴場



ミズクラゲ



ボラの稚魚



アマモの仲間

自然あふれる三重の水辺を巡る

三重の水辺紀行

mie-no-mizubekikou

ライフスタイルに欠かせない海



砂浜に群生するコウボウムギ。古い根が筆を連想させるため、この名がついた。左が雄株で右が雌株。

ボウシバ、ネコノシタ、ケカモノハシ、ハマダイコンなど変わった種名のものがいっぱいいます。コウボウムギはムギの穂のような雌株、タワシのような雄株が特徴的です。種名の由来は、古い根の形が筆先に似ており、書の名人「弘法大師」にちなんでつけたそうです。また、コウボウシバはコウボウムギにそっくりですが、葉の色が濃く、葉の幅が狭い点などで識別できます。ネコノシタはすごく分厚い葉をしており、葉の表面を触るとネコの舌のようにザラザラしているため、このような種名がついたようです（知らない方もいるかもしれませんが、ネコの舌はザラザラしていません）。ハマダイコンは皆さんが食べる大根が野生化したものと言われますが、引っこ抜いてもがりがりの根っこです。あと、ちよつとアートのな生え方をしているのがハマニガナでしょうか。ハマニガナは茎が砂の中に埋まっていて、葉っぱや花だけが砂浜の上に点々と姿を現しています。砂をかき分けてみると葉っぱや花がつながっているのが分かります。こうして改めて海浜植物たちを観察すると、葉っぱを独特の形に変化させたり、地表を這うように生えたりしているのがよく

分かります。太陽がガンガンと照りつけ、塩分の影響を受けやすい過酷な環境で生き抜くため、このように進化してきたのだと言われています。しかし今、海浜植物たちが生える砂浜の環境は危機的な状況にあると言えます。例えば、たぐさんの外来植物が砂浜に生えるようになってきました。ハマヒルガオの間にはコマツヨイグサ、オオフタバムグラ、ユッカランなどが生え、もともと日本にいた海浜植物たちの居場所を奪い始めています。そしてもっと深刻なのが、地球温暖化による砂浜の浸食です。温暖化のせいで台風が大型化しており、一たび台風が来ると、砂浜の砂が多量に流出してしまうのです。海浜植物が生える砂浜は、ほとんどと削られ、狭くなっているのです。近い将来、日本に昔からあった美しい砂浜の景色が消えてしまうのではないかと、そんなことが心配でたまりません。何としても地球温暖化を食い止めるためにはならない、海浜植物を観察していてもそう考えてしまつのでした…。

かいひんしよくぶつ
●第74回● 海浜植物
飼育研究部 若林 郁夫

新型コロナウイルスの影響で、どこにも出かけられない日が続いていますが、皆さんお元気でしょうか？私もなかなかTSAの取材に出かけることができません。困っております。そんなことで今回は、地味ですが、身近な海辺に生える植物たちをご紹介することにしよう。

私はアカウミガメの産卵調査やスナガニを調べるため、年間30日程度は砂浜に出かけています。砂浜というと砂ばかりで、生きものが少ないイメージを持たれるかもしれませんが、よく探してみると色々な生きものたちがひっそりと暮らしているのに気づきます。波打ち際には植物は生えていませんが、そこから10m、20m陸側に目をやると植物が生えだします。これらの植物は海辺の砂浜に好んで生えるため、一般的には「海浜植物」と呼ばれています。春から初夏にかけては花を咲かせるものが多いため非常にきれいで、私はこの5月に志摩半島の各砂浜に数回出かけ、海浜植物を観察して回りました。

私がスナガニ調査によく出かける砂浜には、美しいお花畑が広がっていました。アサガオそっくりのハマヒルガオです。花は薄いピンク色で、葉っぱはハート形をしていて、群生しているため花が咲いた時には非常に美しい光景が広がります。それから私が一番好きな海浜植物はとやっぱりハマゴウでしょうか。砂浜を這うようにびっしりと生え、夏には濃い青色の可愛い花を咲かせます。葉っぱや実をつぶすとスツとするいい匂いが私のお気に入りです。そして海浜植物の中にはコウボウムギ、コウ



筆先に似てる？コウボウムギの根



ハマヒルガオ



ネコノシタ



コマツヨイグサ (外来種)



ハマゴウ (秋にとった写真)



ハマダイコン



オオフタバムグラ (外来種)



コウボウシバ



ハマニガナ



ユッカラン (外来種)



05



06



01



02

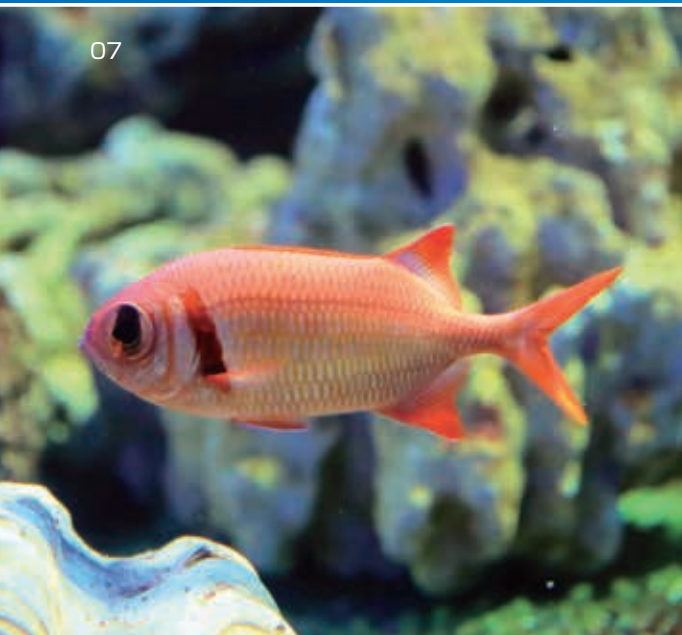
あはれ!
 キーワード水族館
 【第43回】

- 05: ナンヨウハギ
- 06: バイカロードティーバック
- 07: アカマツカサ
- 08: イットウダイ

- 01: キイロハギ
- 02: コガネヤッコ
- 03: デバスズメダイ
- 04: ルリスズメダイ

体の色の巻

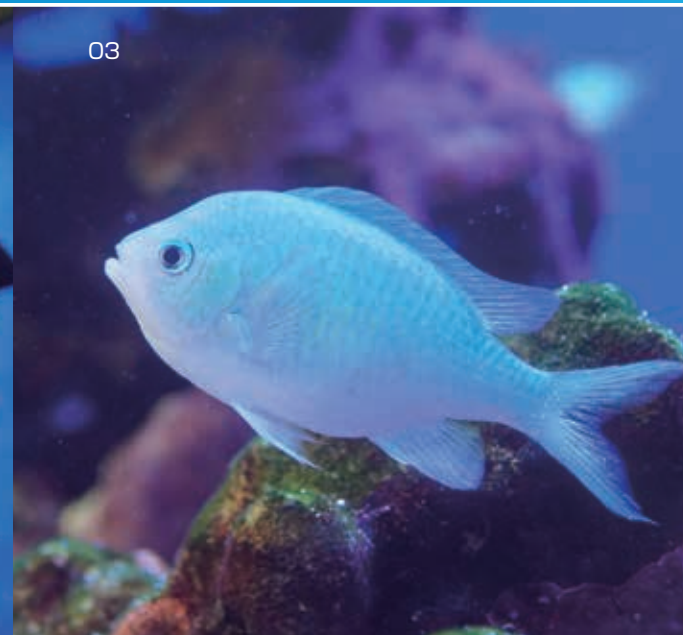
暮らしている場所^{ばしょ}で違ったり、子どもと大人^{ちが}で違ったり
 時には同じ種類^{しゅるい}でも違ったり…どうしてそんな色をしているの？
 今回は「体の色」^{ちゆうもく}に注目してみました。



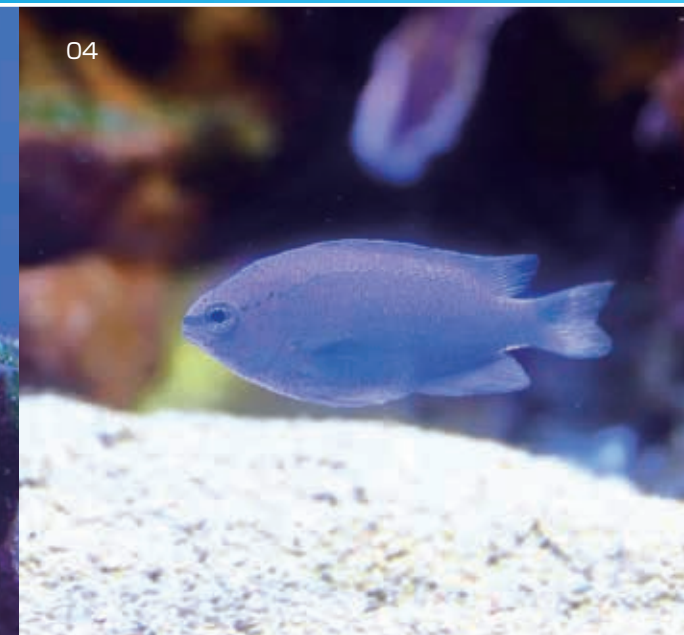
07



08



03



04



13



14



09



10



15



16



11



12

13: キオピヤドクガエル
15: 青い色をしたアマガエル

14: コバルトヤドクガエル
16: 白い色をしたマナマコ

09: ゴマファザラン
11: ハイカルアザラン

10: ゴマファザランの赤ちゃん
12: ハイカルアザランの赤ちゃん

生きものたちって人間の想像を超えるいろいろな色をしているんですね。いやあ、今回も実にあっぱれなものでした！

ニユースで取り上げられるようなかわった色の生きものたちもいますよ。白いマナマコ、黄色いドジョウ、青いトノサマガエルやアマガエル：水族館では普段では見かけることができないような特殊な色合いの生きものたちにも出会えますね。

あ！見てください。奇跡の森で見かけた、カエルの中に原色を身にまとった小さなカエルがいますよ。ヤドクガエルの仲間です。

コーラルリーフダイビング水槽で泳ぐ魚たちは、黄色や青、ピンクなど目立つ色をしていますね。

観察してみてくださいませよ。

水族館で見てみよう

さあ、水族館で生きものたちの体の色に注目して、観察してみてくださいませよ。

2020年に誕生したハイカルアザランの「ニコ」は、生まれてからしばらくの間、体の色が大人のハイカルアザランと違って白い毛をしていました。それが、成長して40日もたつと、白い毛が抜けかわって黒い毛色になります。ゴマファザランの赤ちゃんも最初は白い色をしていますね。

成長すると色がかわる

サンゴ礁が広がるあたたかな南の海にすむ魚たちの体の色は、カラフルな色合いをしています。黄色や青色、中には何色もの色で体を彩っているものさえいます。それは一体なぜなのでしょう？カギとなるのは、海水がとても澄んでいる、透明だという点にあります。つまりそこにすむ生きものたちは、お互いの姿がよく見えるわけです。そのためそこで暮らす生きものたちは仲間を見つけやすいようにするため目立つ体の色をしていると考えられるわけです。

また、深い海にすむ魚たちには、生息する深度によってその体の色に特徴のようなものが見られます。一定の水深までなら、赤い色をした魚が多く、さらに水深が深くなると黒い体の色をしたものが増えてきます。さらにもっと深いところには、体の色が白い魚が登場してきます。こうした色の違いはどうして起こるのでしょいか。これには、海の底に届く光の量に関係しているのではないかと考えられます。わずかな光でも届く水深では、意外と思われるかも知れませんが、赤い体の色をしていた方が目立たないのです。そして、光が全く届かなくなる水深では黒い色が、さらに深いところでは白い色でも目立たなくなるわけです。

体の色と水深

モニタリングのすすめ

ざっこ Club 佐藤 達也



写真 5 鳥羽のアマモ場



写真 4 鳥羽の海中林

環境が多く、過去に行われた開発のおかげで、とても便利な暮らしができてい

SDGs や持続可能」といった言葉をよく耳にするようになりまし。海岸でゴミ拾いを実施したからSDGsの項目をひとつ達成しました、というような事業報告やPR活動を目にする

こともありますが、SDGs 達成のためには「環境保全」だけでなく、「社会的包摂」と「経済成長」3つの要素を調和させることが大前提であると明記されています。そこに住む生きもの

たちや、人々の社会や生活のことも視

環海の日本で暮らすために

読者の皆さま、はじめまして。フリーランス学芸員として、漁師業や海に関わる仕事や海洋教育を実践しながら、海に囲まれた日本で私たちがより良く生きていく方法を模索中の佐藤です。今回は、生きものたちや自然の変化を見続ける「モニタリング」の大切さ、資源や豊かさの本質について、日頃考えていることをお伝えさせていただきたいと思

思い出の川

子どもの頃、名古屋市内を流れる香流川という小さな川が家の近くにあって、足しげく通っていました。春の終わりを感ずる頃にはナマズやコイの稚魚がタモ網でたくさん採れたこと、筆者が小学校低学年の頃(30年弱ほど前)には、梅雨時期になればヒメボタルが河川敷の土手でチラチラと飛んでいたことも記憶に残っています。そして在来種、移入種関係なく、たくさん魚たちの採り方や、自宅までの輸送、飼育の練習もさせてもらった思い出の川です。それこそ名古屋で老舗の、とあるペットショップの会長によると、約60年前にはヤリタナゴやアカザも住んでいたらしく、名古屋市内では

唯一と言っても良いほど、自然豊かな川なのです。

そんな香流川へ久しぶりに足を運んでみましたが、当時の記憶と変わらぬ濁り、不思議な泡立ち、護岸された典型的な都市河川の景観、ミシシッピアカミミガメと放流されたコイが蔓延る姿がありました。お世辞にも綺麗とは言えませんし、なんなら臭いです。しかしそこに、何とも言えぬ懐かしい思い出が蘇ると同時に、当時見かけた顔ぶれの生きものたちもすっかりと残ってしまいました。

海を見ながら暮らしてみたいという願いが叶った今では、想像以上に家の中へ入ってくる虫たち、湿気に塩害(労働と言っても過言ではないくらい大変な山の手入れに閉口しながら暮らしています。そして贅沢なことに、今度は都会の市バスや地下鉄、自転車で行ける範囲になんでもある便利さや、ボーリングやスケート場などの娯楽施設が恋しい今日この頃です。

人の生活と自然のバランス

日本には、のっぺりとした平坦な土地は少なく、起伏に富んだ複雑な地形や自然が広がっていますし、その様々な自然環境へ適応した多様な生きものたちの姿を見ることが出来ます。その中には、人が暮らすためには不自由な

野に入れる必要があるのです。つまり、人の生活と自然のバランスです。「そんなこと言われても、難しいじゃん」「やれることからやろうよ」と言われたこともあります。ごもつともです。ただし、それならまずは「何が自然か」ということを知るところから始める必要があると考えています。

「自然」を知ること&モニタリング

ある中学生が、海岸に落ちている発泡スチロールの下に隠れたヨコエビやカニたちの姿に「ここは彼らの隠れ家になっていないか」と、声をかけてくれたことがあります。彼の目に写った景色は、ある意味で「自然」なのです。

まえてみたり、飼育してみたり、子どもたちと川遊びをしてみたり、という方法もおすすです。もちろん、名前を調べることも大切です。そして、その生きものが居た証として写真だけでも良いから記録を残します。ちなみに、ピンボケ、または明後日の方向を向いた写真を見せられ「これ何?」と聞かれ、「さっぱり分からんです」と即答することも多いです。写真は、なるべく美しく、誰がみても分かる写真で記録することが重要です。あとは、その記録を同じ場所で行うんな季節に取り続ける、残し続けることがモニタリングの第一歩です。目的なんかはありません。記録し続けることに意味があるのです。

方法は簡単。わざわざ都会から遠く離れた場所の情報を入れなくてもいつも歩いている道路や、自転車で行ける場所に自然がある贅沢に目を向けてみてください。できれば、実際に捕

二ユースやメディアなどで良く目にする「海が綺麗になりすぎている」「海苔が育たない」「アサリが獲れない」などというのは、海のある一部を切り取った姿にすぎません。富栄養化による赤潮や貧酸素の海底は、いまだに伊勢湾のなかに存在していますし、干潟の生きものたちの多様度は回復していると聞きます。ひとりひとりが、何気ない目の前の「自然」をモニタリングしていれば、そのような矛盾に気がつき、断片的な情報に踊らされることも減ると思います。いずれは、みんながモニタリング情報を持ち合っ、真つ当に話し合える場が育つ日が来ることを願っています。



写真 6 道端の花



写真 3 香流川のトウカイコガタスジマドジョウ



写真 2 香流川の景観



写真 1 海の見える自宅からの景色



佐藤達也 Tatsuya Sato

昭和 59 年生まれ。愛知県の三谷水産高等学校卒業後、三重大学、大学院へ進学。神宮の宮城を流れる五十鈴川の淡水魚類相とその生息環境の解析がテーマだったが、得意の潜水調査やサンプリング能力などを活かして 2010 年に海の博物館で鳥羽市内の海辺調査とガイドブックを製作。2012 年に独立し、ざっこ Club を設立、日本でただひとり(おそらく?)のフリーランスの学芸員および漁師、講師、水中カメラマンや潜水士、調理師など、活動は多岐にわたる。最近では幼児教育にはじまる海洋教育の系統だてや「海のようなえん」の実践、伊勢志摩の自然をモニタリングすることに興味を注いでいる。

鈴木 香里武 (すずき かりぶ)

1992年3月3日生まれ、うお座。幼少期から魚に親しみ、専門家との交流や様々な体験を通して魚の知識を蓄える。「フィッシュヒーリング」を提唱し、大学院で観賞魚の印象や癒し効果を研究。荒俣宏氏が立ち上げた海好きコミュニティ「海あそび塾」の塾長を務め、岸壁幼魚採集家として多数の貴重な稚・幼魚を採集・観察。メディア・イベント出演、執筆等の活動をする傍ら、水族館の企画等、魚の見せ方に関するプロデュースも行う。現在は北里大学大学院海洋生命科学研究所に在学して稚魚の生活史を研究している。近著に『岸壁採集!漁港で出会える幼魚たち』(ジャムハウス)、『海でギリギリあきらめない生きざま。』(KADOKAWA)、『魚たちからの応援図鑑』(主婦の友社)。株式会社カリブ・コラボレーション代表取締役。男物のセーラー服がユニフォーム。



地球で
Let's enjoy on the earth
遊ぼう!

38

岸壁幼魚採集家 鈴木 香里武さん

“足元の海”は幼魚パラダイス

タモ網を握りしめて漁港に這いつくばり、海面を凝視して魚を探す。壮大な金魚すくいのような活動をご存知でしょうか。その名も「岸壁幼魚採集」。

漁港の足元? メジナやボラの子くらいしかないんじゃないの? そう思ったら大間違い! 実は漁港は、多種多様な生き物が集うパラダイスなのです。大海原を悠々と泳ぐ巨大魚も、岩場に住み着く底生魚も、人間が立ち入ることのできない世界に住む深海魚も、みんなみんな小さい頃は漁港に現れるんです。とっても身近な未知の世界を、一緒に覗いてみましょう!



幼魚はなぜ漁港に現れるのか?

漁港って不思議な場所ですよ。波に削られてできた磯や砂浜と違い、人間が作った場所。いわば不自然な環境です。でもそこには、長い年月をかけて海藻が生え、貝類が定着し、人工的な空間に自然が入り込んでいきます。そんな特殊な環境は、小さな魚たちにとって安全な隠れ家になっています。

遊泳力が発達する前の稚魚や幼魚が、大海原にボツンと浮かんでいたら…大きな魚に見つかって簡単に食べられてしまうでしょう。荒波にもまれて体力を消耗してしまうかもしれません。そんな彼らが漁港に逃げ込んでみると、そこは堤防に守られた波の穏やかな場所。地形が入り組み水深が浅いため、大きな魚などの敵が少ない場所。風に運ばれ、渦ができて、エサのプラフクトンが溜まっている場所。身を隠しながら成長するにはもってこいな環境なのです。

岸壁幼魚採集のココが魅力

磯遊びや釣り、ダイビングなど、魅力的な海のアクティビティはいろいろあります。そんな中でも岸壁幼魚採集をオススメしたい理由は、手軽に始められること。釣具店で売っている千円ちよっとのタモ網と、ロープのついた水汲みバケツ、その2つさえあれば幼魚観察ができるの

刻には、多くの海水が外海から漁港へと流れ入って来ます。その流れに乗って幼魚たちもやって来るので狙い目です。そして大切なのは、風と地形の関係を読むこと。浮遊物を身を寄せている幼魚たちは風に乗ってやって来るため、風下側の漁港の角に溜まります。その日、その時の風向きを読み、湾の形や漁港の口が向いている方向と照らし合わせると、溜まっているポイントを見つけ出すことができます。よさそうな漁港が見つかったら、海面に浮かぶ流れ藻や漁船を繋ぐ係留ロープの周囲を念入りに観察してみましょう。こうしたものは幼魚たちにとって隠れ家にもなりエサ場にもなるゆりかごのような場所になっているのです。

幼魚の世界はまだまだ謎だらけ。足元の海に世界初の大発見が隠れています。

ここまでポイントがわかれば、幼魚を見つけるのは簡単!...と言えればいいのですが、そんなことはありません。幼魚の世界はまるで仮装大会。彼らは身をを守るために様々な方法で擬態しています。我々のイメージのはるか斜め上をいく姿で隠れているので、いわゆる「魚」を探そうと思ってもなかなか見つからないでしょう。一番の秘訣は、「違和感」を探すること。「あのへんがちよっと動いた気がする」とか、「海藻の間からヒッぽいものが出ている気がする」とか、「あの岩、目っぽい模様ない?」とか…上から覗く海中世界に目が慣れて、ちよっと



出会う日が来るとは夢にも思っていなかった幻の深海魚リュウグウノツカイの稚魚 (体長約 1.8cm)。冬の西伊豆にて。



長年憧れていたバショウカジキの稚魚 (全長約 1.8cm)。房総半島の漁港で夜に出会った。



秋の漁港の擬態名人ナンヨウツバメウオの幼魚 (全長約 5cm)。体を横倒しにして海面に浮かぶ姿は枯れ葉にしか見えない。



風船のような体色が可愛い深海魚アカグツの稚魚。泳ぐ姿が撮影されたのは世界初で、これまで漁港で出会った中で最も珍しい魚。

特別な知識や道具は必要ありません。誰もが発見者、誰もが研究者になれるのが岸壁幼魚採集です。この楽しさを一度知ってしまつと、目の前にどんな美しい絶景があっても、ついつい足元が気になって視線を落とってしまうようになりますよ!

です。海に入るわけではないのでウェットスーツは必要ありませんし、人間が歩くために整備されているため、磯と比べて足場が良いという安全さも魅力です。漁師さんの迷惑になることはしない、漁業権で守られている生き物を獲らないといったルールさえ守れば、大人から子供まで幅広く楽しめる活動なのです。

足元の海にも四季があります。海藻が生い茂る春には、そこに溶け込めるように黄緑色のイダテンカジカや茶色のトビイトギンポなどが現れます。海水温が一気に高まる夏の漁港は、黒潮に乗って南からやって来るチヨウチヨウウオやモンガラカワハギなどカラフルな幼魚たちに彩られます。枯れ葉が海面に舞い落ちる秋になると、ナンヨウツバメウオやマツダイのような擬態名人たちが、茶色の平たい体を横倒しにして浮かぶ姿が見られます。そして冬、浅瀬の海水温が下がる季節になると、深海からの珍客で海面に異空間が広がります。季節に合わせて様々な生き物を観察できる漁港は、1年中いつ足を運んでもワクワクする発見がいっぱい!

合言葉は「違和感を探せ!」

幼魚に最も出会うやすいタイミングや場所を見定める方法があります。まずは、潮の干満差が最も大きくなる大潮の時期をチェック。その頃の満潮時

第15回 伊勢志摩でのナマズ調査

飼育研究部 辻 晴仁



初めて釣った伊勢志摩のナマズ

私は海無し県出身なのですが、小学生の頃、近所で釣れる肉食魚と言えはナマズでした。三重県に越してからは豊かな海域があるのでナマズを追いかける機会が減ってしまったのですが、今はあえてコロナ禍での移動規制内、つまり伊勢志摩でナマズを探してみようと思いました。

ご存知の通りナマズは淡水魚です。当たり前ですが海水では生きられません。よって純淡水域を探すことになるのですが、伊勢志摩は海水が影響する水域が広くこの調査は苦戦することになりました。

まずは鳥羽市内から調べます。加茂川という河川が一本ありますが、長さがあまりにも短すぎて満潮時の影響でほとんどが汽水域になってしまいます。最上流部まで行ってみるも水量が少なくナマズが生息する状況にはないと判断し打ち切ることに。

続いて志摩エリアです。志摩周辺は極端に海拔が低く、リアス式海岸ゆえに内陸部まで潮の影響を受けます。また大きな河川もなく、知り合いの漁師さん方に取材してみるも見たことないでーの一言。これまた打ち切り。



カワイイ目をしているが視力はとても弱い。



ナマズを釣った宮川の支流。田植えの影響で濁りが出ている。



宮川の中流域。ボラなどの海水魚の遡上が多く確認出来る。

最後は伊勢市内です。伊勢は宮川という大きな河川が一つあり、伊勢志摩で唯一、平野が広がる地域です。今回は宮川への流入河川何本かに絞って調査しました。夜行性のナマズですが、明るいうちでも尻尾を出していることが多く目視確認できます。しかし調査と田植えシーズンの兼ね合いが出てしまいました。これはダメかと思いましたが、河口から約20キロ地点にて、ナマズ独特の丸みを帯びたカーテンのような尻尾を発見しました。また周りには稚魚の群れが確認できました。食い気が上がる日没を待って入り直します。暗がりの中、鮎のシルエツトと似たルアーを投げ入れると、パシャッと捕食音を立てます。しかし針には掛からず。実はナマズは食べるのがとても下手なのです。時間をかけて繰り返すこと3投目。竿先に重みを感じて上げてくると、暗闇の中、独特の粘液の匂いが鼻腔を突きまします。ついに伊勢志摩でナマズに出会うことが出来ました。

今回伊勢志摩地方ではナマズが生息する水域が限られると知ったと同時に、いかにこの地方が海水の影響を受けているのかを改めて感じました。

第4回

人魚姫 セレナとの日々

飼育研究部 半田 由佳理

セレナの健康チェック

私たちが飼育係には給餌や掃除のほかに毎日とても大切な仕事があります。それは、生きものたちが健康かどうかをチェックすることです。彼らは人間のように言葉が話せないで「お腹が痛いなあ」「体がだるいなあ」など体調の変化を私たちに伝えることが出来ませんよね。そのため、毎日の健康状態を把握するためには欠かせない重要な仕事なのです。

さて、今回は私がいつも行っているセレナの健康チェックについてご紹介いたします。

朝、セレナの水槽前に到着すると、まずは餌が残っていないかを確認します。餌は前日の午後にとくさん給餌するため、夜間まで食べているので翌日でないとも結果が分からないの

です。残すことなくキレイに食べてあったらOK！まずはひと安心。そして、次はセレナの動きを観察します。いつもと違う泳ぎ方をしているか、だるそうにしているか、と同時に顔の表情や体に傷がないかなどをチェックします。長い間セラナと一緒に過ごしていると、顔の表情でも元気がどうか分かるようになってくるのです。次にプールサイドに移動し、うんちのチェックです。うんちは水面に浮いていることが多いので、見つけたら形を崩さないように網ですくって専用のお皿に回収します。そして、重さを計り色や形、さらにピラセットで中の消化状態をこまかく見て、ニオイも嗅ぎます。状態の良いうんちは表面がなめらかでツヤがあり、きめ細かく消化されています。しかし、お腹の調子が良くないときは、未消化の海藻が見られ、いつもとニオイも違うのです。また、オナラが出てくるかも観察します。人の場合、オナラは「あら失礼ー」といってごめんですが、草食動物であるジュゴンの場合

はお腹の調子が良いとオナラがよく出るので。他には、エサの食べ方(活発に口を動かしているか)や食べるスピードなどもチェックします。

いつもの健康チェックで気になるところがあれば、何よりも早くその状態を改善させることが大切です。例えば、食べ方に活発さがなく動きが少ない時には、隣のプールにいるアオウミガメのカメ吉と一緒に泳いでもらい遊びながら運動をさせたり、給餌量の調整をしたりとセレナの様子

子を見ながら対応します。運動をするとお腹の動きが良くなり、エサもよく食べてくれるようになります。

幸い、セレナはこれまでほとんど体調を崩すことなく健康で過ごしてくれています。今後毎日の健康チェックを欠かさずに行い、セレナにはずっと、ずっと元気でいて欲しいです。



活発にアマモを食べるセレナ



うんちチェック

獣医のち もき

[38]

去年鳥羽水族館で初めてバイカルアザラシが生まれました。生まれた子供ニコは、SNSを通して人気者になりました。飼育担当と獣医を兼ねている私がうれしかったのは、ニコのおかげでバイカルアザラシという動物が広く知られるようになったことです。

さてニコを出産したのは当時30歳の「うなり」でした。私はこれを高齢出産と言ったことがあります。しかし最近、本当にそうなのかと考えます。私がうなりを高齢出産と言ってしまう理由の1つは、日本で一般的に飼育されているゴマフアザラシについての知識です。鳥羽水族館でも長い飼育経験があります。20頭を飼育して20歳を越えたのが5頭、最年長は25歳です。これまでに11頭の子供が育っており、母親の出産年齢の平均は大体12歳で、最高齢は推定21歳です（このアザラシは北の海で生まれて北海道で

ニコからのプレゼント

飼育研究部
長谷川 一宏

保護されたため、正確な年齢がわかりません。30歳以上で出産した例は、国内にもあまりないと思います。一方バイカルアザラシは野生では、43歳まで出産すると書かれている本もあります。私は当たり前のように思っているゴマフアザラシの暮らし方をバイカルアザラシであるうなりこに当てはめました。これはよくなかったようです。バイカルアザラシの出産に立ち会ったことがないという経験不足が、間違いを引き起こしたのです。ゴマフアザラシとバイカルアザラシ、両者を区別する言葉を「種（しゅ）」と言いますが、別々の種は生態も異なるものです。それを強く思い出させてくれたのが、昨年のニコの誕生ということになります。ところでうなりこは43歳まで出産するでしょうか。野生と水族館の違いがありますし、本に書かれていることが全部正しいとは限りません。これからも、うなりこをきちんと飼育すること、それが明らかになるでしょう。

「長谷川君、まだまだ経験不足で勉強不足ですよ。」このメッセージこそがニコからの手厳しいプレゼントです。そのことを肝に銘じて、1日1日を過ごしたいと思います。



▲最近のニコ。少年っぽくなったかな。

新連載

第1回

伊勢志摩 プラプラ

高林 賢介



プラごみのある場所にモンスターマークをつけてみた

海は波うちぎわが気持ちいい。不規則に寄せてはかえす波をながめてみると、自然と口元が緩みます。ところが、期待して出かけた浜には、ひとりでは拾いきれないほどのプラスチックが横たわっていました。伊勢志摩の海といえば、海藻がいちめに茂り、アワビやイセエビが躍る場所だったはず。いつだったか、老練な海女さんが「あなたにとって海とは何ですか?」と聞かれて、「海はわし(私の銀行)」と言ってしまうほど、最高の場所なのです。そんな命あふれる海が、今、プラごみモンスターに攻め込まれています。



花は終わってもプラは消えない

目をおおいたくなる現実(げんじつ)に直面(じっけん)されて、本やWebを読み漁(い)りました。まとめるとプラスチックは便利すぎて生活に欠かせません。すでに世界中で83億トン以上も作られ、年々増え続けています。一方で、リサイクルによって、再びプラに生まれ変わったのはわずか9%。ほとんどは燃やしたり埋めたりされていたのです。野外に流出したものは動物が誤って食べたり、から

まったりして命をおびやかしています。わたしたちも、知らずに微細なプラスチックを口にしているようです。そしてプラが自然に還るには、数百年もかかるといってデータもあり、途方に暮れます。」といった感じでしょうか。すでに世界中を巻き込んだ、とてつもなくスケールの大きな話になっているのです。

「年間の国家予算は106兆円」なんて言われてもピンときませんが、「2月の小遣い5千円」は痛いほど伝わってきます。あまりに大きな話は、わたしたちの脳を「他人事モード」に切り替えます。だから、プラごみの話も伊勢志摩サイズにすると分かりやすい気がします。はじめの1歩

として、いまも海女たちが潜る石鏡町を訪ねました。すれ違う漁師に、元氣よく挨拶をしながら浜を指します。着いた浜には、上げ潮で運ばれたプラスチックが、ひと筋の帯となっていました。丁寧にみると、ひとつひとつが際立ってきます。傷だらけのペットボトル、冷凍スパゲッティの包装紙、片方だけのサンダル、釣具のパッケージ、ひと抱えもある発泡スチロールの浮きと、どれも見覚えのあるものばかり。海にプラごみモンスターを送り出している張本人は、明らかに私たちです。

なんと、イントロから海洋プラごみの犯人がわかってしまいました。もしもサスペンス劇場だったら、船越英一郎氏の断崖絶壁シーンを待たずして終わり、という物足りない展開です。しかし、プラごみ問題の大切なところは犯人捜しだけではありません。便利さを求めた末に、モンスターを生み続けたツケを、どう清算するのが肝心です。未来でも、気持ちのいい海が見られるようにするために。さっそく、この鳥羽に「伊勢志摩でもっともごみが押し寄せる島がある」との情報を入手しました。解決の糸口を求めて、行動開始です。

「ヌタウナギを大量に収集する」このミッションが私に課されたのは前年の9月頃の事でした。事の始まりは、この春の企画展「にゆるにゆるトゲトゲ生物の謎」の開催が決まったことです。企画展のテーマとしては、にゆるにゆる、トゲトゲしている「目で分かる生きものたちを集めて、なぜその姿になったのか、どういう意図があるのかを観察して楽しく学ぶ」というものです。その中で、ヌタウナギを大量に生体展示することにしました。また、「ヌタウナギのゆるにゆるヌタヌタ大実験」という、ヌタウナギをお客様に触ってもらおうという体験イベントを行うことも決まりました。大量展示は見たときのインパクトを与えるために、水槽が埋め尽くされる程の個体数を展示する必要があります。また、体験イベントでは、ヌタウナギたちのストレスの分散をするため、数多くのストックも必要でした。こ

このことから、ヌタウナギを100個体以上収集しなければならなかったのです。ヌタウナギは大きさ40〜60cm程度で、浅海域〜水深740mに生息しています。目が退化している姿などから、水深200m以深の深海によく住んでいると思われていますが、この種は主に浅海域に生息しています。ヌタウナギの最大の特徴は、なんとと言っても「ヌタ」を大量に分泌することです。ヌタは水に触れると、水分を巻き込んでゼリー状になります。その性質を利用して、天敵に襲われた際にヌタを出して驚かせるなど、主に防衛の手段として使っています。さて、そんなヌタウナギの収集ですが、調べていると、ある漁師の方が直売しているとの情報を得ました。連絡してみると、いつでも指定の量を販売できるという返事を頂けて、入手経路を確保することができ

飼育研究部 山岡 隼



ヌタウナギ



「ヌタ」によってゼリー状になった海水

春のヌタ祭り

ました。そして企画展の開催が近づいてきた頃に受け取りへ向かいました。運搬は活魚タンクを載せたトラックで行いました。道中、活魚タンク内の水がヌタによってゼリー状になってしまい、全滅してしまわないかと内心不安でしたが、無事に水族館へ到着し、約200個体を搬入しました。そして、展示水槽には約100個体のヌタウナギを展示しました。それだけの個体数を入れると水槽の底が埋め尽くされて見えないほどになり、大きなインパクトを与えられる水槽となりました。見た人からは「これはやばい」「気持ち悪い」などの声が聞こ

え、おどろおどろしくも興味を持ってもらえたようです。また、体験イベントに関しては、「意外と触り心地が良い」など、楽しんでもらえたようで、最初は恐る恐る触っていた方も、ヌタが出だすと「心不乱に触りだしたり」と大好評でした。ヌタウナギは最終日まで元気で、体験イベントでもヌタを出し続けてくれました。ヌタウナギたち、お疲れ様でした。こうして、私のヌタウナギと共に過ごした春の企画展は無事に終わりを迎えました。毎日のようにヌタを触っていた私にとって、この期間はさながら「春のヌタ祭り」と言ったところでしょうか。

もうヘンなヤツとは言わせない!

第20回

飼育日記から見つかった新種

飼育研究部 森滝 丈也



◀チンボクヨコエビ

今年の春、Twitterに投稿された1枚の画像が新種発見につながったというニュースがネットを中心に話題となりました。新種記載されたのは海岸性タニの一種、チヨウシハマベタニ *Amerohinus wittler* (学名もツイッター)。これは投稿画像を偶然目にした研究者が新種だと気づいたことに端を発した出来事でしたが、実は、似たような事例は水族館公式ホームページのブログ「鳥羽水族館飼育日記」でも起きています。私は飼育日記で採集した種類不明の無脊椎動物を積極的に紹介しています。投稿を目にした研究者から連絡が入り、結果、新種記載に至ることがあるのです。例えば、2015年9月に「水深400-3500mの沈木に穿孔していた目がないヨコエビ類を採集しました。」と書いたところ、3ヶ月ほどして「本日たまたま鳥羽水族館の飼育日誌を拝見し、興味深いヨコエビの写真を見つけました。」と書かれたメールが届きました。送り主の研究者は、普段から連絡を取り合う関係ではなく、たまたまその年あった学会で名刺交換をしていた方でしたが、これをきっかけにし

て、このヨコエビはチンボクヨコエビ *Bathyceroides japonicus* として2020年6月に新種記載されました。この時は採集から記載まで5年近くかかりましたが、新種記載まで非常にスピーディーに進むこともあり、タコヤドリゴカイ *Spaliocheilus octopodis* のケースがそうでした。2017年11月21日に「水深150mから採集したタコの体表にゴカイの仲間が付着していました。」と画像と共に書き込みしたところ、2日後に知り合いの研究者から「相当珍しいヤドリゴカイという仲間の可能性があり、ヤドリゴカイの仲間は基本的に二枚貝の中から見つかるのでタコというのもまた珍しいです。」と連絡が入り、研究者とやり取りを繰り返して、最終的に本種は特徴的な姿と生態から新属新種として論文発表されました。この時は採集から新種記載まで何と14ヶ月しかかかりませんでした。さらに本種は、国際的な海洋生物のデータベースによる「2019年の注目すべき海産生物10種」に選ばれているなど、大きく注目されました。



▲タコヤドリゴカイ (矢印)



▲飼育日記の投稿がきっかけで新種記載されたエビノユタンボ

飼育動物の近況をお伝えるに留まらず、新種の発見や生物多様性の解明に役立つ有用なツールになっているのです。

読者のページ

LETTERS FROM READERS

☆読者の皆様からのお便りを、お待ちしております。

鳥羽水族館の思い出、質問、何でも結構です。採用させていただいた方には記念品をお送りいたします。

毎号楽しみに読んでいます！ニコちゃんの成長記録、沖縄でのジュゴンを探す話など、読んでいてわくわくしました！コロナが落ち着いたら、また鳥羽水族館へ行きたいと思っています！セイウチの赤ちゃん特集も見てみたいです!!

★金野 菜津海さん(神奈川県)

セレナちゃんのページを楽しく読ませていただきました。絵本になったセレナちゃんですよ…何て賢いだろうと思いました。飼育員さんたちに愛されているからこそセレナちゃんの行動と思いました。

★林 賀津子さん(大阪府)

私は根っからのアザラシファンで、ニコくんも大好きです！昨年8月には実際に見に行くことができ、とてもうれしかったです。これからも飼育動物、生物について、T.S.A.の丁寧な編集によって学べることを楽しみにしております。

★河田 明子さん(愛知県)

うなりこの妊娠から出産まで数々の苦難があったのですね。元気に育っているニコを見られて、飼育員さんたちの努力と愛情のおかげでニコがいるんだあと感動しました。

★藤本 淳子さん(大阪府)



★片平正美さん(愛知県)

沖縄のジュゴントレンチの記事、ぬいぐるみを海に沈めて写真を撮るエコツアーの方の記事、トレーナーさんの記事、2020年生まれの水族館の赤ちゃんの記事がとても面白かったです。

★伊藤 優佳さん(東京都)

お便り・イラスト募集中

採用の方には記念品を進呈します。

【あて先】〒517-8517

鳥羽水族館 T.S.A. 編集室 (住所不要)



撮っておき写真

スタッフより

引き続きあなたの撮っておき写真を募集します。タイトルとエピソードを添えてお送りください。

- 応募条件：おひとり1作品
- 画像のサイズ：2MB程度まで
- 締め切り：2021年8月31日

送り先メールアドレス tsa@aquarium.co.jp

★堺いとさん(岩手県)

★村山みうさん(千葉県)

鳥羽水族館 モノ語り

NO.31 テープ



私はいつもビニールテープを持ち歩いている。絶縁テープとも呼ばれ、黒や黄、赤、緑など色のバリエーションが豊富な誰もが知っているであろうあのビニールテープのことだ。子供の頃、家の工具箱の奥に少し変形したビニールテープがあった事を記憶している。我が家ではあまり活躍する機会がなかったようで、そのテープは、ひどい時にはよれよれになっていたりベトベトしていたりして使い物にならない状態で放置されていたのだ。大学生になると、研究室で魚類標本を扱っていたので標本ビンにラベルをつける際にこのビニールテープをよく使っていた。この時は白が基本だった。他にもテープといえば、ガムテープ、セロハンテープなど文房具と呼ばれるもの。荷造り用のテープもあるが、学校に通っていたころはこの荷造りテープを使って運動会の時にポンポンを作った記憶のほうが強いの。そういえば、テープって言えば、子供の頃は、カセットテープやビデオテープくらいしか知らなかったなあ。

時は経ち、水族館で働き始めた私にとって、ビニールテープが色々な場面で役に立つ優れモノとして、個人的重宝グッズランキングの上位を占めるようになった。

よく使うのは物を固定したり、印をつけておきたいときだ。水族館では、エアチューブをブラストックの棒と一緒にテープで固定して即席の掃除道具を作る。簡単に作れるもので、バックヤードをよく見渡すとそこかしこに置いてあることに気づくはずだ。

意外なところでは、アシカショーで、このビニールテープが活躍しているのをご存じだろうか？思いたいで欲しい、ショーの中で、トレーナーがアシカに向かって輪投げをしていたと思う。トレーナーが投げた輪を次々とアシカが見事にキャッチする。ショーの中で盛り上がる場面だ。そのカラフルな輪を色付けしているのが、ビニールテープなのだ。この輪っかは、市販品ではなくトレーナーの手づくりで材料は塩ビパイプである。そこに赤や白のビニールテープを交互に巻いて完成である。今度機会があったらぜひ輪にも注目して欲しい。

エサを切っていたり、現場で作業をしていたりすると、気をつけていてもケガをすることがある。新人の頃は、自分でもあきれくらいいにしよっちゃうケガをしていたが、今は体が作業に慣れたのか、減多にケガをしないことを申し添えておく。さて、ケガをする部分は指が多いのだが、本当はすぐに治療をしなくてはいけないのだが、それができないこともある。そこで、応急処置としてこのビニールテープを傷の部分にクルクルと巻いて止血をしている。もちろん、あとでちゃんと消毒をしているのでご安心を。

学生の頃、沖縄の港で船から伸びた紙テープの束がヒラヒラと揺れるのを見た事がある。故郷を離れる人の見送りだったのだと思う。テープの端と端を持つだけで人が繋がっている。すごく感動したことを記憶している。私が考える以上にテープの使い道は無限なのかもしれない。



あつまれ! 水中のアスリート TOBA リンピック

魅せろ!

水中のアスリートたち!

鳥羽水族館の各コーナーでは動物たちが様々な種目に挑戦します。

トドがジャンプ台から水中に豪快に飛び込む「トドの高飛び込み」や、ペンギンたちがハードルや平均台があるコースで競う「ペンギンの障害物競争」、ラッコが華麗なダンクシュートを放つ「ラッコのバスケットボール」など見逃せない競技が盛りだくさん!



トドの高飛び込み



ラッコのバスケットボール

今年の夏、鳥羽水族館では生きものたちが様々な競技に挑戦するイベント「TOBA リンピック～あつまれ! 水中のアスリート～」を開催します!

水中のアスリートたちが魅せる能力をみんなで見学しよう!!

期間

2021年7月17日(土)～9月20日(月・祝)

あつまれ!

す魚い能力者たち!

企画展示室では様々な競技に見立てた水槽で生きものたちの能力を紹介します。

「テッポウオの射的」や「タツノオトシゴの鉄棒」、「ヨダレカケのサーフィン」など生きものたちのチカラを近くで見学しよう!



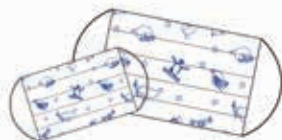
タツノオトシゴの鉄棒

展示生物数:
11種約60点

なぞと謎解き

参加費 1回¥100

TOBA リンピックでは、私たち人間も頭脳を使って「なぞとき」という種目に挑戦できます。生きものたちの能力にまつわる謎解きを全問正解して、鳥羽水族館オリジナルマスクをゲットしよう!



マスクイメージ図

TOBAリンピック限定

ラッコのダンクソフト

ソフトクリームにラッコとバスケットボールをモチーフにしたクッキーがトッピングされた夏イベント限定「ラッコのダンクソフト」をレストランベイスайдにて販売します!



鳥羽水族館オリジナルカプセルフィギュア

JOIN 鳥羽水族館2 新発売!

鳥羽水族館のオリジナルカプセルフィギュア JOIN 鳥羽水族館の第2弾が完成しました。2021年3月20日より館内の専用販売機で販売しています。



第2弾

第1弾

JOIN 鳥羽水族館は、株式会社 Qualia の「JOIN Collection」シリーズの1つで、1個のフィギュアの台座が扇形になっており、5個集めることで1つの円形型に組み合わせることが出来る所が特徴です。

もちろん全種類を集めて組み合わせる事も出来ますが、お気に入りの種類だけを集めて自分好みの組み合わせで飾ると言うのもお勧めです。

今回の第2弾のラインナップは、ジュゴン、アフリカマナティー、イロワケイルカ、セイウチ、スナドリネコの全5種、どれも鳥羽水族館の人気者です。

それぞれのフィギュアの造形は、鳥羽水族館のスタッフが監修し、何度も作り直しや色彩の塗りなおしをお願いして作って頂きましたので、こだわりのリアルな出来栄となっております。

鳥羽水族館館内のカプセルフィギュアの専用販売機のみでの販売です。

販売方法の特性により、どの種類が出るかはお楽しみ、1回¥400です。

なお、JOIN 鳥羽水族館の第1弾もまだ同様に館内で販売しておりますが、在庫が無くなり次第販売終了となりますので、欲しいと思われる方はお早めに!

営業第二部 水越 謙



ジュゴン

アフリカマナティー

スナドリネコ

イロワケイルカ

セイウチ

CLOSE UP

正月イベント
「海牛神社」でモウ安心?」
を開催



12月30日～1月7日の期間で「海牛神社」でモウ安心?」を開催しました。ジユゴンの牙とマナーティの歯をご神体とし、餌のアマモや牧草を

お供え物として展示しました。訪れた人を和ませる大きなぬいぐるみや鳥居の扁額、社を照らすぼんぼりなど、ほぼすべての装飾を飼育員が手作りしました。中でも社を囲う巨大な影絵は彼らの生息環境を再現し、背景を緑や黄色などカラフルに彩った力作で、多くのお客様に撮影スポットとして楽しんでいただきました。(仲田)

鬼ダイバーが大水槽に登場!



2月2日は「節分の日」ということで、エントランスホールの大水槽では、赤鬼と青鬼のコスチュームを身にまとった飼育員が「鬼ダイバー」として登場しました。鬼たちが魚の群れやウミガメと優雅

に泳ぐ、とてもファンタジーな光景が繰り広げられていたのではなにかと思います。当日の様子をご覧になれなかった方は、鳥羽水族館の公式YouTubeチャンネルにてご覧いただけますので、是非チェックしてみてください。(中西)

白ジヨウの展示

3月8日、鳥羽水族館に真っ白なドジョウが入館しました!鳥羽市松尾町の田んぼで農作業をされていた方が発見し、当館に寄贈して頂きました。最近では白いオタマジャクシやカエルを展示することはありましたが、白いドジョウが入館するのは初めてだと思います!普通の体色のドジョウと展示しているのでぜひ見比べてみてください。より多くのお客様に見ていただき、幸運が訪れる事を願っています。(竹居)



ラッコの「キフ」が仲間入り

3月17日に、和歌山県のアドベンチャーワールドから、メスのラッコ「キフ」が仲間入りしました。ラッコは1頭飼育より複数頭で飼育するほうが望ましい為、鳥羽水族館で受け入れることになりました。アド



ベンチャーワールドから鳥羽水族館まで、約6時間かけての移動でしたが、到着後すぐにプールに入っ て毛繕いを行い、とても元気な様子でした。環境に慣れる為に、1週間ほど別のプールで過ごし、現在はメイと同居しています。(世古)

フンボルトペンギンの愛称が決定

今年生まれの3羽のフンボルトペンギンの雛に愛称が決定しました。1240通の応募の中から、「すばる」「いろは」「ゆりね」と、担当者で雛の様子を見て決めました。「すばる」は右腕に黄色、「いろは」は左腕にオレンジ、「ゆりね」は左腕



=編集後記=

雨の音が好きです。特に好きなのがトン屋根に落ちる雨の音。いい音源はないかとYouTubeで探したらいっぱいありました!同志がいてうれしかったです。(高村)

5歳くらい女の子がいました。「お母さん、さっきのちよっとエッチなスケスケザリガニ見にいこう!」おもしろい解説ラベルは心にのこるんですね。(高林)

チャック付きの片栗粉は、一回使うと詰まってチャックができなくなる。勘弁してくれ(辻)

小さなおともだちから嬉しい手作りの飛び出すお手紙をいただきました。またひとつ宝物が増えました。(井上)

テンちゃんの写真を撮りに行く可可愛さに癒されつつ、なんとお土産ももらえます!(ヨダレとか鼻水とかそれらのおいとか)ありがとうございます!笑(村上)

次号 No.80 は 12 月下旬発刊予定

TOBA SUPER AQUARIUM
2021 夏 No.79

発行人/奥出 協

発行所/鳥羽水族館

〒517-8517 鳥羽市鳥羽3-3-6
TEL 0599-25-2555

編集長/若井 嘉人

編集委員/高村 直人

高林 賢介

辻 晴仁

井上 まゆこ

村上 真美

印刷/(株)アイブレーン

◎本誌の掲載記事、写真等の無断複製・複製転載を禁じます。

みんなの地球を大切に!
この本は再生紙を使用しています。 © TOBA AQUARIUM



出来事

2020年11月～2021年4月

- 11月
 - 7日 ●ラッコの「メイ」の「鳥羽水族館1日消防隊長」動画をSNSで配信
 - 9日 ●熊野灘で採集されたエビヤドリムシが新種と判明したことを報道発表
 - 11日 ●セイウチが「税を考える週間」をPR
 - 13日 ●鳥羽消防本部よりラッコの「メイ」に感謝状が授与される
 - 19日 ●フリーディングローンで「ミナミアフリカオットセイ」「ワゴン」を「よこはま動物園ズーラシア」へ搬出
 - 22日 ●JICA主催「パラオの海を知る環境リモート学習ツアー」開催
- 12月
 - 5日～25日 ●クリスマスイベント「ピリピリツリリ & 水中サントラのプレゼント」を開催
 - 13日 ●三重動物学会「化石の観察会」津市美里町にて開催
 - 14日～20日 ●鳥羽市民感謝週間
 - 17日～18日 ●「海獣の王国」ペンギン水槽「年末大掃除」
 - 24日 ●竹島水族館へ生物搬出12種41点、搬入4種23点
 - 24日・25日 ●ラッコの「メイ」にクリスマスケーキをプレゼント
 - 30日～1月7日 ●正月イベント「海牛神社」でモウ安心?」を開催
 - 1月
 - 1日～3日 ●ラッコの「メイ」にお年玉プレゼント
 - 6・11・14日 ●フンボルトペンギンに赤ちゃん誕生
 - 2月
 - 29日 ●大分マリンパレス水族館うみたまこよりセイウチ「泉」短期フリーディングローンにて受け入れ
 - 16日 ●セイウチ「泉」を大分マリンパレス水族館うみたまこへ搬出
 - 3月
 - 2日 ●節分にちなんだ鬼ダイバーが大水槽に登場(ライブ配信)
 - 7日 ●新人トレーナーがアシカショーでデビュー
 - 10日 ●オタリ「あられ」がアシカショーデビュー
 - 14日 ●アメリカカビバターの「シーボン」にバレンタインプレゼント(ライブ配信)
 - 19日 ●白いマナマコ1個体入館
 - 22日 ●バイカルアザラシ「ニコ」へ初めての誕生日プレゼント
 - 4月
 - 3日 ●ひなまつりにちなみラッコの「メイ」に「ちらし水」をプレゼント
 - 8日 ●白いドジョウが入館(9日に展示開始)
 - 13日 ●三重動物学会スナメリの観察会「鳥羽水族館」開催
 - 17日 ●アドベンチャーワールドよりラッコ「キフ」入館(19日に一般公開開始)
 - 18日 ●ジヨフロアカエルガメ1個体孵化
 - 3月20日 ●春の企画展「にゆるにゆるトゲトゲ生物の謎」を開催

鳥羽水族館 スケジュール (2021年6月1日現在)

7月

8月

9月

TOBA リンピック
 ~あつまれ!水中のアスリート~
 期間:7月17日(土)~
 9月20日(月・祝)



※10~12月は未定です。

■詳しい日時についてはホームページでご確認ください。なお、動物の健康状態などにより変更や中止の場合があります。

クイズ&プレゼント Quiz & Present

Q 生まれたばかりのセイウチの赤ちゃんは
 どんな鳴き声でしょう？

- 1: ポウポウ
- 2: クウクウ
- 3: ワンワン

ヒントは
 特集ページに
 あるよ!

正解者の中から抽選で3名様に
 「セイウチのぬいぐるみ」をプレ
 ゼントいたします。クイズの答
 え、住所、氏名、電話番号、感
 想をご記入の上、ご応募ください。締切は**2021年8
 月31日(必着)**で、当選者の発表は商品の発送をもって
 かえさせていただきます。



あて先: 〒517-8517 (住所不要)
 鳥羽水族館 T.S.A. 編集室



定期購読
 方法の
 ご案内

郵便払込み(青色用紙)でお申し込みください。

加入者名: 鳥羽水族館 T.S.A. 編集室
 口座記号番号: 00890-7-188305

料金

1年分 420円、2年分 840円です。
 通信欄に氏名、住所、電話番号、何号からの購読希望か、
 購読期間は1年か2年かをお書きください。

【動物取扱業に関する表記】

鳥羽水族館: 三重県鳥羽市鳥羽 3-3-6 種別: 展示 志摩第18-1号 2006年6月1日 登録更新: 2021年6月1日 有効期間: 2026年5月31日まで 動物取扱責任者氏名: 長谷川一宏